

# SDGs 実践例紹介コーナー

## 今月のSDGs実践例紹介: 株式会社新栄重機



STEP  
01

### きっかけ

社会全体でその重要性が語られるようになった頃、土壌のリサイクルやエコアクションなど、すでに行っていた取り組みが多く、のゴールに当たはまることに気づいたのがきっかけです。そこで、既存のエコアクションメンバーを中心にSDGs推進チームを編成し、全社的に発信することで、徐々に取り組みを広げていきました。



STEP  
02

### 実現の秘訣

コミュニケーションを取り続けること

最も大切にしてきたのは、SDGsの意味や目的を繰り返し伝え、共通言語として社内に根づかせることでした。部署ごとにシニアマネージャーを中心に直接つながってもらい、繰り返し話す場を持ちました。また、勉強会や安全推進室の立ち上げ、資格取得支援など、社員と接点を持ち、各自が学びながら主体的に動ける仕組みも整えてきました。続けることで、点と点が線でつながり、社内の変化につながってきたと思います。



STEP  
03

### 結果

はじめは「やらされ感」があった社員たちも、今では自らアイデアを出し、CO<sub>2</sub>削減やアイドリングストップの工夫など、実行に移すようになりました。社員数の増加に加え、評価制度や給与体系の見直しが進むなど、社内の変化も見て取れるようになりました。技術継承や人材採用にも好影響があり、「SDGsを軸に変革を進める会社」という信赖が、社内外に広がりつつあります。

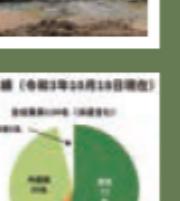
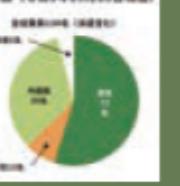
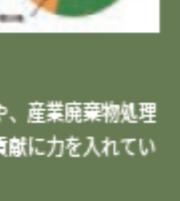


「新たな市場の開拓」「売上の増加」「他社との差別化」「企業イメージの向上」「従業員の定着率向上」等、SDGsへ取り組むことで得られるビジネスチャンスもあり、SDGs経営への関心も高まっています。

当所では、会員事業所の皆様のSDGs経営のサポートとして、東京海上日動火災保険株式会社の協力を得て、『SDGs取組診断』サービスを無料で実施しており、当所ホームページよりお申込みいただけます。

また、本実践例紹介コーナーの記事も初回から当所ホームページで掲載しておりますので、是非ご覧ください。

### 企画例

- 企業の発展と地域貢献を通して住み継がれる町を創る
- ジェンダーの区別なく能力を発揮できる環境を創る
- 国籍・性別・障害問わず能力を活かせる会社創り
- 産業と技術革新の基盤を創る「廃棄ではなく有用物に変える」
- CO<sub>2</sub>排出量の削減

### 今後の取り組み

これからも「成長しながら循環を生む会社」であることを目指します。たとえば、产学連携による土壌再生や、産業廃棄物処理の高度化といった取り組みをさらに進めていきます。また、地域とのつながりを強めるため、地元採用や地域貢献に力を入れていきます。

## 会社概要

会社名 株式会社 新栄重機  
所在地 485-0823 愛知県小牧市郷西町1-1  
電話番号 0568-47-0210

愛知県小牧市に本社を構える1970年創業の土木・建築・総合リサイクル企業です。重機による土木施工と産業廃棄物の中間処理を中心に、汚泥や残土の再資源化を推進。土壤改良やICTを活用した施工管理など、環境保全と地域貢献を両立しています。「地球をデザインする」を理念に掲げ、技術と人材育成を軸に持続可能な社会づくりに取り組んでいます。



代表取締役社長  
今村 政宏

中小企業支援ナビ代表理事  
中小企業診断士



「地球をデザインする」という当社の理念から生まれる新たな開発資源や人材育成活動は、当社のみならずグループ企業にも広げることで共通価値コンソーシアムとなり、世の中への発信力がさらに高まります。まさに「SDGsを軸に変革を進める会社」のモデルとなりそうですね。

長谷川 雅彦